

2. アンケートの中の質問

A 福祉サービス等に関する質問

①	福祉人材確保 大津市の支援	今、関わっている方が長く続けられるような、新しく関わる方が安心して働いていけるような、市の取り組みを具体的に教えてほしい。（例えば『研修』なら『周知の方法』や『1年間で行われる回数や参加人数』『勤務時間として参加してできるのか』など。
---	------------------	---

B 学校卒業後（の福祉サービス等）に関する質問

	項目	質問内容
①	一人暮らし	『自宅から離れて、一人暮らしをする場合の支援やサービスについて』どれくらいの支援があるのか。
②	グループホーム	重度でも入所できる施設やグループホームの見学等がしたい。くわしく今現在の利用状況なども知りたい。
③	福祉サービス 居場所	在学中に放課後等デイサービスを利用していた人が、卒業後、生活介護や作業所などに通所した後に、過ごせるサービスは、実際どのくらいあるのか？
④	入所施設	非常に入所先が少なく難しいと聞きますが、親が健康な間に動きたいと思っています。他府県でも考えています。現状はどのようなものでしょうか？
⑤	卒業後の就労支援	卒業後に就職等何も決まらなかった場合どこか受け口はあるのか。
⑥	『大津ならではの 就労移行支援』	『大津ならではの就労移行支援』について、卒業前に見学や一日体験する機会があるのか？
⑦	就労系の事業所	『就労継続A、就労継続B、就労移行支援等』とは？

C 学校卒業後について、みなさんの『おもい』や『ねがい』を聞かせて下さい。

①	グループホーム	なるべく手厚いグループホームを選択したい。特色などはどこを見れば確認できるか。
②	企業就労 障害者雇用の現状	本人は企業就労を望んでいるが、障害者雇用状況や実際に就労している障害者の方々の話を聞いてみたい。
③	行動障害 入所施設	強度行動障害のある人が入所する施設が不足していると思うが、今後、増えることはあるのか心配。
④	医療的ケア 卒業後の生活設計	自分自身で意思を伝えられない、肢体不自由、生活の全介助が必要、医療的ケアが必要…重度な状態の場合、卒業後はどんな生活設計をしていけば良いか。

3. アンケートの中の意見（要望）

A 福祉サービス等に関する意見（要望）

(1) 福祉サービスの量的拡充

	項目	意見（要望）
①	ヘルプの日数不足	ヘルプの日数が少なく、家族の負担が大きくなっているので助けて欲しい。

(2) 福祉サービスの質的、内容の拡充

①	通院の付き添い	サービスは充実していて助かっているのですが、病院への付き添いができないのだけが、難点です。
②	シングルマザー 緊急対応	シングルマザーのため、二人の子どもがいて。夜間の急病の時、自宅で子どもをみてもらう人がいない。夜間病院にいけない。

③	ショートステイ	伊香立のショートステイなども小学生からどんどん受け入れて欲しい。
④	保護者の就労の確保のためのサービス	現在の天津市福祉サービスでは身内に支援者がいない場合、母親がフルタイムで就労することが困難な状況です。朝の通学ヘルパーや夏休み等の長期休暇時に放課後等デイサービスの利用時間を延長できるシステム等、子どもの居場所を作っていたら、障害児の母親もフルタイム同等の就労ができるようお願いしたい。
⑤	医療的ケア児の福祉サービス	入浴サービスをして下さる所が増えるといいなと思います。（医ケア児） 医ケア児が行ける放デイが増えて欲しい。
⑥	保護者負担	使いたい制度、使える制度が少なく親の負担が多すぎる。
⑦	現状の制度	困って市役所に行っても『今の制度では使えるのはなくてすいません』と言われ、結局解決しないまま。

(3) その他

①	小児保健医療センターの病床数減少	小児保健医療センターの病床減少について、特殊な病院でもあり、病床が減ることは考えることができません。短期入所や入院など絶対に今後も必要で、普通の病院では難しい部分がたくさんあります。今後も障害児が増えることがわかっているのに減らしてどうするのか、何の説明も同意もなく勝手に決めることは反対です。理解できません。
---	------------------	---

B 学校卒業後（の福祉サービス等）に関する意見（要望）

	項目	意見（要望）
①	卒業後の福祉サービス利用	学校卒業後どうして過ごすのか不安です。 デイサービス（放課後等）を利用していた生活からいきなり15時から本人の好きな時間となれば、ほぼ家族の負担になり、今から7年後が不安になってきます。18歳以降に何がどう設置されたら本人たちに良い生活につながるのか。
②	医療的ケアショートステイ	子どもの身体が大きくなるにつれ、障害特性による介護の負担が大きくなり、親自身の睡眠不足も慢性化しています。病院のレスパイトは受け入れが少なく、もう少し近い場所（市内）に医療的ケア対応のショートステイがあればたいへんありがたいです。
③	入所施設	障害のある子どもとその親と一緒に生活できる施設を作って欲しい。

C 学校卒業後についての『おもい』や『ねがい』

(1) 親、家族の負担

①	保護者の負担	親子共で疲弊することのないよう願います。
②	卒業後の学校に代わる居場所 親亡き後	ここが自分の居場所と思えるような安心できる通所先やホームが希望する人に見つかることを願っています。自分の気持ちを伝えることができない、または、苦手な子たちですので、特に親亡き後など一人になった時にも安心して暮らせる支援をしていただけたらと思います。
③	家族への負担	兄弟児がいるので、負担にならないような支援があるといいなあとと思います。
④	卒業後の居場所 保護者の就労確保	現在、学校と放課後デイサービス、居宅介護を利用しており、仕事ができているのは福祉事業所のおかげだと感謝しております。しかし、学校卒業後は、福祉施設の定期利用ができなければ、現在の生活を大きく見直す必要があると考えています。息子が大人になっても安心して通える施設があって欲しいと思っています。

(2) 卒業後の居場所

①	卒業後の学校に代わる居場所	卒業後の居場所（家庭以外）、余暇の過ごし方、活動が在学中よりも縮小することなく、今までと同様のペース、さらにはもっと活動的になるようなご支援があると嬉しいです。
②	卒業後の学校に代わる居場所	以前は一つの事業所に週5通所が保障されているから、近年は併用利用で週5の利用が可能との認識でございました。しかし、現状では併用利用でも週5利用は難しく、日中一時の利用を検討するに至っております。この厳しい状況に希望が断たれ途方に暮れています。早期に施設受け入れ定員の飛躍的な拡充を切望します。
③	居場所の安心、安全	学校卒業後は不安でしかないです。それぞれの障害にあったところが増えていった欲しいです。職員不足や虐待などいろいろな問題もありますが、安心安全で楽しく過ごせる場所があって欲しいです。

(3) 生活

①	自立	いろいろな人たちと関わって少しずつでもいいので息子が自立してくれたらいいなあと思います。
②	仲間	仕事以外にも気の合う仲間と集いあえるような場所があれば幸せな人生になると思います。
③	本人の希望収入	それなりに生活できるだけの収入を得られればいいのですが、難しいのでしょうか。本人が通いたい楽しいと思える場を持てることが一番の願いです。

(4) 進路、就労

	項目	意見（要望）
①	卒業後の不安	学校終了後の進路について、とても不安に思っています。
②	就労先	就職先の選択肢が少なすぎる。
		子ども自身が働くということを経験できること（例えば、車の整備が好きで詳しいから実際にお店等で見学、体験、訓練）が出来ないのが残念だと思う。好きなことをして働けるという特性を活かせる幅が少ない。
		私の子どもは控えめな性格なので、優しい職場に恵まれたらいいなあと思います。
③	企業就労事業所の現状	企業就労ではどのような職で対応可能なのかわからず漠然としています。どの事業所も定員いっぱいだと聞きます。これだけでも不安しかありません。
④	就労支援の充実	卒業後の就労移行支援、A型事業所を増やして欲しい。本人のできることを生かし、就労に少しでもつながるような支援を充実させてほしいです。
⑤	本人合った事業所	子どもに合った事業所を見つけて、本人が安心して過ごせたらいいなあと思っています。親の願いは社会との関わりを持って欲しいです（本人の無理のない程度で）。
⑥	『ニューロダイバーシティ』	障害による脳や神経の違いを多様性にとらえ、相互に尊重し、社会で活かしていく『ニューロダイバーシティ』という概念に注目が集まっている。労働人口が減少にある中、将来的に企業側は多様な人材を受け入れるという門戸が広がり、障害者は理解と協力を得ながら活躍できる機会が得られることにつながる可能性に期待したい。都市部だけでなく地方でも。

(5) 福祉の拡充

①	事業所、グループホームの拡充	事業所（生活介護）やグループホームもどこも定員がいっぱいで入所するのは厳しいと聞きました。もっと、グループホームや事業所を増やして欲しいです。
②	通所施設	卒業後の進路について、本人の身体状況によって進路が変わると思いますが。現状の住まいで生活しながら、支援を受けられる事業所に通う生活ができればと思います。

③	福祉人材の確保	TVなどでも福祉の職員の方の不足など言われているので、サービスを行ってくださる方など賃金をあげるなど、何か働いてくださる方が増えるような対策などがあればいいのかなと思います。
④	卒業後の居場所 肢体不自由	肢体不自由の子供が安心して通える場所があってほしい。
⑤	入所施設	強度行動障害のある人が入所する施設が不足していると思いますが、今後、増えることはあるのか心配です。
⑥	グループホーム	重度でも行けるグループホームを増やして欲しいです。できれば入所施設も増えたらいいなあと思います。

(6) その他

①	自立訓練	自立訓練等、通えるところがもっとたくさんあるといいなあと思います。家から遠いと本人はしんどいみたいなので、なるべく家から近くに何か所かあればありがたいなあと思います。
②	将来に向けて今親がやるべきこと	まだ1年生なので正直、想像がつきにくい。今の時点で親にできること、やるべきことがあるなら知っておきたい。
③	医療的ケア 卒業後の生活設計	自分自身で意思を伝えられない、肢体不自由、生活の全介助が必要、医療的ケアが必要…そんな重度な状態の場合、卒業後はどんな生活設計をしていけば良いのでしょうか。
